

2

東京都多摩市

多摩市立多摩第一小学校

- クラス数 / 18 クラス
- 児童数 / 637 名
- 建築主 / 多摩市
- 所在地 / 多摩市関戸 3-2-23
- 敷地面積 / 16,124.32㎡
- 建築面積 / 6,105.80㎡
- 延床面積 / 7,973.05㎡ (体育館 1,521.34㎡)
- 構造・規模 / 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造 地上3階建
- 施工期間 / 2007年10月～2009年4月
- ※クラス・児童の数値は平成22年3月末現在

特別教室群の一体化で、調べ学習、体験学習を自由に展開できる。

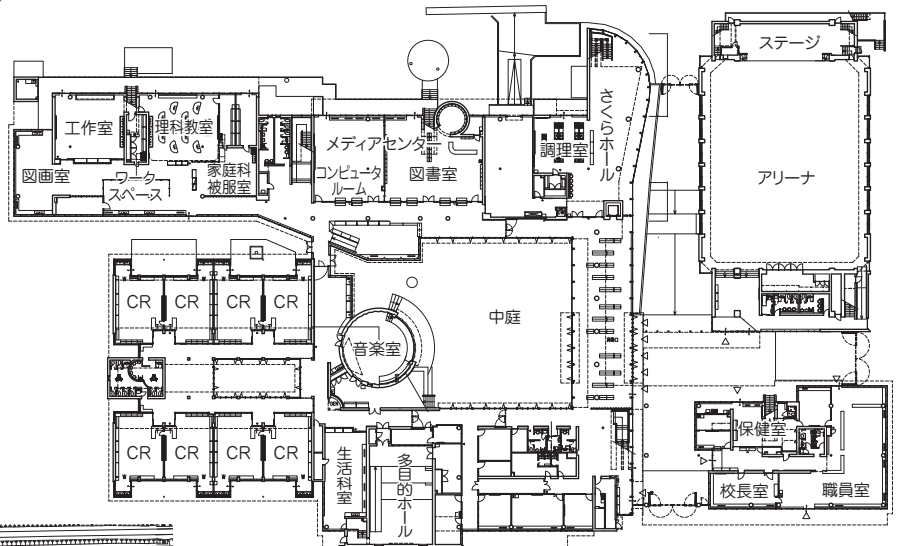
図書室、コンピュータルーム、理科教室、工作室、家庭科被服室、特別教室群を連続性のあるスペースに一体化。調べる、実験・体験するための環境整備。



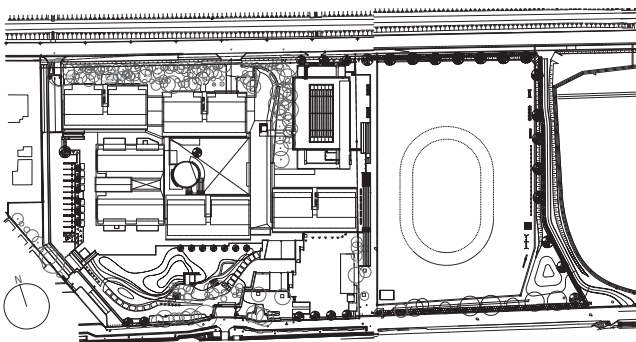
中庭を中心に配置された普通教室ゾーンと特別教室ゾーン

計画に見られる指針改訂のポイント

1. 多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
2. 理数教育環境の充実
3. 家庭・地域と連携した施設の充実



■1階平面図



■配置図

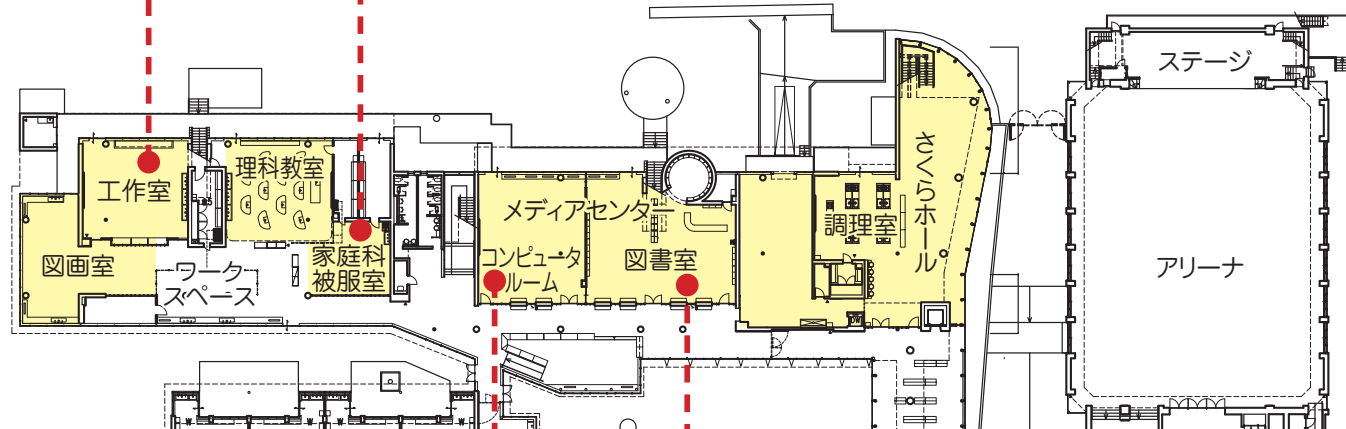
多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 特別教室の効率的な整備



1 工作室



2 家庭科被服室



3 特別教室が1階北側にまとめて配置されている



4 コンピュータールーム



5 図書室

校長の視点から

学習能力を高める施設

児童の調べ学習や、実験や体験学習などを行いやすくするために、理科教室、図書室、工作室、家庭科被服室をオープンスペースのなかに一体的に配置しています。児童の関心を引き出し、高めていくようできるだけ少人数で実験を行い、体験を話し合い発表できる環境を整えています。理解力が深まるとともに、挑戦する気持ちが養われ、学力向上へつながっています。(写真1、2、図3、写真4、5)

余裕教室とフリースペースの利用で、少人数によるグループ学習を実施

教科によっては、児童の習熟度に大きな開きが生じます。一人一人の児童に確かな学力をつけるため、余裕教室とフリースペースを有効に活用して、少人数による指導を行っています。特に算数では、3年生以上で3学級を5つのグループに編成して指導しています。

教職員の視点から

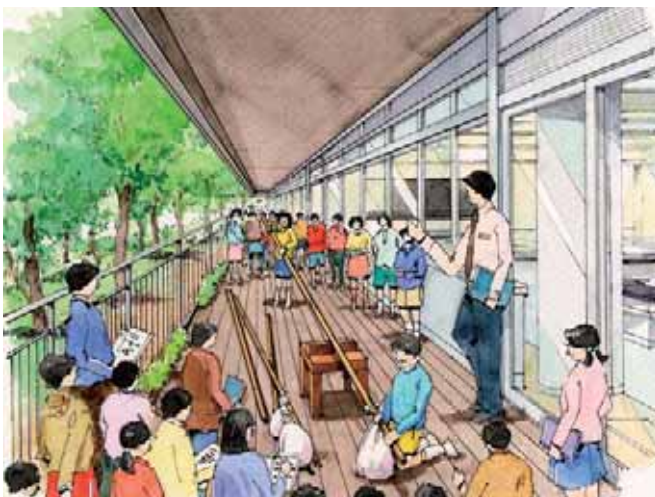
児童の集中力が高まる理科教室の活用

ワークスペースと一体の理科室では、児童の集中力が高まるよう、全児童が教師の方を向ける机の配置となっており、演示実験も行いやすくなっています。また、隣接するバルコニーなどを利用した半屋外の実験や観察も行え、実験のまとめなどの時には可動の間仕切りを利用して落ち着いた空間を作ることできます。(写真6、図7、写真8)

理数教育環境の充実
「観察・実験が充実して行える理科教室」



6 施設環境が整った理科教室。右奥に家庭科被服室



7 理科教室のバルコニー空間では実験道具などの物干しや半屋外での実験スペースとしても活用



8 理科教室と工作室をつなぐ、展示や発表などに利用できるワークスペース

ウッドデッキの中庭を
地域活動に開放

地域との連携を学校運営に活かすため、学校の中心である中庭を地域活動に開放する予定です。黄色い円筒形の音楽室は、開けるとそこが野外ステージとなる構造となっているので、音楽会をはじめ多様な催しや交流の場となります。ウッドデッキにはそのまま座ることができます。(写真 9、10、図 12)

学習の内容と形態に合わせた
施設づくり

「さくらホール」により家庭科の調理室とランチルーム、「メディアセンター」により図書室とコンピュータールームがそれぞれつながりを持っています。「さくらホール」は明るく開放的な空間で、全校児童が一堂に食事ができ、学習成果の発表にも使用されています。「メディアセンター」は調べ学習の中心として活用され、多様な学習形態に適した配置がなされています。(図 3、写真 11)

〈設計者の視点から〉

- ◎要求諸室を機能的に見直し、総合的な利用ができるように特別教室などはまとめ、床面積を縮小しながら、新たな空間を提案しました。(写真 1、2、図 3、写真 4～6、図 7、写真 8)
- ◎校舎を低層化し、接地性を高めることで、児童の活動領域が広がり、かつユニバーサルデザインにも配慮した安全性の高い計画を目指しました。(写真 1、2)
- ◎エコスクールとして環境との共生や施設の長寿命化を考慮した学校施設づくりを目指し、太陽光発電、雨水

家庭・地域と連携した施設の充実
↳ 保護者や地域住民等が交流できる空間



9 建物中央にあるウッドデッキの中庭は地域開放の催しや朝礼などで利用（建物の屋根には太陽光パネルを設置）



11 調理室と連続したランチルーム(さくらホール)



10 音楽室の窓を開けると中庭の野外ステージと連続する（音楽室内部から中庭を見る）



12 中庭は保護者や地域住民によるイベント開催の場となる

検討委員会委員の視点から

特別教室の効果的な整備
の観点から

調べ学習や実験などが効率的に実施できるよう理科教室や工作室、図書室、コンピュータールーム等を一体的に配置するなど、学習活動の連続性を考慮した計画となっている。

理数教育環境の充実
の観点から

理科教室は演示実験が行いやすいよう実験機が配置されていたり、半屋外の実験・観察空間が整備されていたり、実験・観察等が充実して行える計画となっている。

利用、風力発電、屋上緑化を採用しています。将来、児童の減少などに備え、建物用途変更が行いやすいよう、構造壁以外は変更可能な間仕切り壁を多用しています。

(写真 6、8、9)

◎教室の北側配置や勾配屋根とハイサイドライトの設置等により、非常に落ち着いた雰囲気のある、光・熱環境の優れた教室をつくることができました。(写真 9、11)

(設計/アルコム)